

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

それぞれの地域への貢献を経営理念として謳い、官民協働をエンジンとした地域社会の課題解決に取り組む

協働発行自治体
1,100自治体以上

デジサイネージ設置
300箇所

短期借入金
50百万円

長期借入金
2953百万円

② 中長期の経営戦略

1. 官民協働事業の拡大

行政情報誌『わが街事典』の既存自治体との改訂版発行と新規開発を推進し、子育てや空き家対策など自治体ニーズに対応したジャンル別情報誌を展開

3. DXサポート事業強化

AIチャットボット、リスティング広告、WEB制作で自治体と地域事業者のDXを支援し、新たなアライアンスやサービス開発に取り組む

2. DX推進による地方創生

『わが街NAVI』『わが街ポータル』などデジタルサイネージと情報発信サイトで自治体と地域事業者のプロモーションとDXを支援

4. 地域経済活性化支援

『わが街とくさんネット』『食彩ネット』『わが街ふるさと納税』でeコマース・ふるさと納税を強化し、事業者の販路拡大を支援

③ 対処すべき課題

① 東京一極集中からの脱却

- ・ 地方消滅とそれに伴う国家衰退リスク
- ・ 地方経済停滞と財政逼迫への対応
- ・ 地方創生による産業振興が日本再生の根幹

② 官民協働体制の構築

- ・ 地方課題解決には民間活力導入が必須
- ・ 行政と民間の異分子結合がイノベーション創出
- ・ 持続可能な地域社会実現には官民協働が唯一の解

③ 事業成長と利益確保

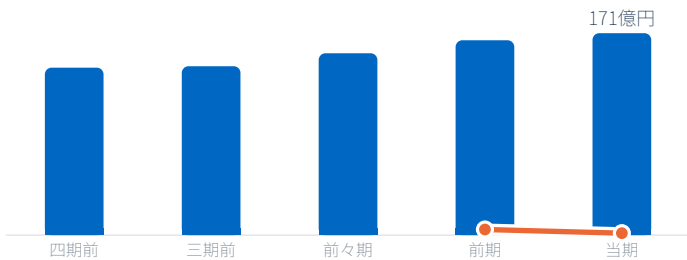
- ・ アライアンスとM&Aによる事業領域拡大
- ・ 連結売上高と連結経常利益の増加を目指す
- ・ 健全な財務状態とキャッシュフロー生成能力の維持

面接で使えるポイント

- ・ 平成18年から官民協働型行政情報誌『わが街事典』で1,100超の自治体と協働し、地方創生を推進している点に共感できること
- ・ 令和7年3月に『わが街 street NAVI』で300箇所のデジタルサイネージ設置を実現し…
- ・ 官と民の異分子結合がイノベーションを起こすという発想で、地域経済活性化と財政再建に同時に取り組む経営姿勢

証券コード 2376

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
171億円営業利益率
1.0%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 39.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
439万円

サービス業内 468位/524社

平均年齢
41.0歳

サービス業内 163位/527社

平均勤続
12.0年

サービス業内 91位/527社

女性管理職
－（未開示）男性育休
50.0%

サービス業内 229位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)サイネックス【2376】：決算情報

